

一般社団法人 日本ヨ一ヨ一連盟 2016年度以降の活動について

いつもJYYFの競技会にご来場・ご参加頂き、誠にありがとうございます。

このたびJYYFの公式HPにて今後の活動について情報を公開させて頂きました。

ご覧頂きました通り、2016年度以降、組織構成や競技会に関して、多くの変更点があります。また、皆様にとって一部ご負担になる内容もございます。

皆様にはJYYFの活動についてご理解・ご賛同頂いた上で、是非今後も競技会に参加して頂きたいと考え、今回変更点の中でも特に重要な

- ・体制の変更
- ・JYYFの今後の活動概要

について、本資料にて詳細をご説明させていただきます。

恐れ入りますがご確認のほど、よろしくお願いいたします。

理事の業務と今後の組織形態について

理事の業務は、これまでJYYFの活動における最高意思決定を主とし、その他、日常業務や各大会での現場業務を行うため、過去の実績から任命をし、活動を行ってまいりました。

ただ、近年の競技会の規模拡大および外部から理事に求められる業務等、設立当時とは状況が大きく変化していること、また世界大会でのプロジェクト遂行時の役職/役割の適任者選出において出た課題・反省から、このたび組織形態を次ページの通り変更いたします。

今後同表の通り、役割を細分化し、各役職に適材を配置することで、より効率良く各業務を遂行してまいります。

組織形態の変更

役職	役割	担当者
執行理事	最高意思決定 日常業務・現場業務	三居 弘典、荒牧 淳、上村 哲弘
理事	最高意思決定と主に現場業務	松浦 弘武、黒澤 浩、中塚 謙二
執行部リーダー	日常・現場業務リーダー	山田 淳史、村木 慎弥 その他メンバー近日発表予定
執行部メンバー	日常・現場業務	近日発表予定
レギュラーメンバー	大会でセクションを任せられるスタッフ	近日発表予定
スポットメンバー	大会でセクションのキーとなるスタッフ	近日発表予定

- ・上記メンバーはJYYF所属スタッフとして今後活動を行います
- ・これまでのボランティア主体での運営の脱却を目指し、各ポジションに与えられる責任や業務量に応じて日当や交通費の支給を行う予定です

人事情報

- ・2015年11月より上村 哲弘が理事として加わりました。
- ・2015年11月より、山田、村木が理事を退任し、今後執行部リーダーとして、担当地区においてニーズの吸い上げおよび地域活性化などを中心に活動いたします。

2016年度以降の活動について

これまでJYYFは、スポンサー様やボランティアスタッフの皆様、また関係各位の大きなご支援ご協力をいただき、数々の競技会を開催してまいりました。おかげさまで年々規模を拡大し、今や業界内では世界トップクラスの競技会を開催できる状態となりました。

その反面、競技会以外の活動(普及活動・検定整備・広報活動)に関しては、競技会の成熟に対して現在大きく後れを取っている状況となっており、世界大会を終えた今、今後の業界発展のため改めて活動内容を見なおした結果、これまで深く着手できていなかった以下2点が、JYYFとしてまず着手すべき課題であると認識いたしました。

競技ヨーヨーの普及
(認知度の向上)

インフラの整備
(組織再編、会員、検定など)

JYYFの活動概要について(公式HPより)

赤文字:JYYFとして今後求められる(必要な)活動

ヨーヨーの競技会を開催します	ヨーヨーの競技ルールの制定をします
ヨーヨーのトリック(技)の検定をします	ヨーヨーのレベル(段位)認定をします
ヨーヨーの審査員・ジャッジの育成をします	
海外のヨーヨー組織や世界大会と連携をとり国際交流を促します	
ヨーヨーの普及のための印刷物を作成します	ヨーヨーの練習会・教室を運営・サポートします
安全なヨーヨーとプレイを推進します	ヨーヨー普及のための教本・ビデオを企画・製作します

→JYYFの活動において、その多くが実施できていないのが現状です

課題2点に着手すべきと判断した理由

現在我々が携わっているのは「競技」ヨーヨーであり、競技会が主体です。引き続き、競技会、競技選手を大きな柱として今以上に大切にしていきたいと考えていますが、まずは以下の課題に着手し、

ヨーヨーの魅力の
明文化と訴求
(競技人口の増加)

選手層以外の
ニーズの把握
(多角的なアプローチ)

業界内全体の
満足度の向上
(定着率の向上)

「ヨーヨーをより「多く」の方に「様々」な方法でより「長く」楽しんでもいただくこと」が、後の競技会の発展、そして選手がより輝ける業界への発展に不可欠であると、世界大会開催の経験を得て改めて気づくことができました。

ただ、上記実現に向けては、現状のボランティアスタッフがメインの運用ではスタッフや関係各位にかかる負担が大きく、そしてコンテスト収入のみでの運用では、今まで通りの競技会の運営が現実的な活動の限界であり、現状からの脱却には仕組み的に無理があるため、前述の通り、組織の再編を含むインフラの整備が必要であるという結論に至りました。

そこで、JYYFでは上記ミッションを達成するため、今後の活動プランを作成いたしましたので、次ページよりご紹介いたします。

STEP1 : JYYF会員入会の促進～インフラの整備

JYYF主催の競技会に関わる皆様との距離を縮め、様々なニーズを可能な限り吸い上げ、多角的なアプローチ、定着率の向上を目指します。また、2017年よりJYYF会員へのご入会を促進する事を目的とし、競技会へのエントリーはJYYF会員への入会を必須とさせていただきます。

同時に、インフラ整備の一環として、ジャッジ、スタッフの育成(ボランティア運営中心の現状の脱却)も進め、組織としての運営力強化に励み、今までに行えていなかった外部への営業活動、またJYYFからの情報、意志や理念発信も積極的に行ってまいります。

JYYF会員は運営上、皆様に会費負担をお願いする事となりますが、お預かりした会費は、加入者の保険適用、競技会の運営費用のほか、以下をはじめとする各種普及活動の費用としても一部利用させていただきます。

各地で大会以外の
イベントを実施

全国で開催されている
練習会のサポート

検定制度
の整備

青文字: 上記実施により達成できるJYYF活動

ヨーヨーの競技会を開催します	ヨーヨーの競技ルールの制定をします
ヨーヨーのトリック(技)の検定をします	ヨーヨーのレベル(段位)認定をします
ヨーヨーの審査員・ジャッジの育成をします	
海外のヨーヨー組織や世界大会と連携をとり国際交流を促します	
ヨーヨーの普及のための印刷物を作成します	ヨーヨーの練習会・教室を運営・サポートします
安全なヨーヨーとプレイを推進します	ヨーヨー普及のための教本・ビデオを企画・製作します

STEP2：普及活動の実施、会員満足度の向上

より多くの方に競技ヨーヨーに触れて頂く機会を作り、競技ヨーヨーの認知向上に努め、競技人口の拡大を目指します。

また、以下の様な、競技者/非競技者の垣根なく楽しめる、会員満足度を向上させるためのイベントの企画・運営を行います。

- ・検定記録に基づいたイベント

(例)段位戦、記録会などフリースタイルを主体としないイベント

- ・競技会に関するデータ(出場/入賞記録等)をもとにしたイベント (例)ランキング戦
- ・会員ニーズに沿ったファンイベント (例)ゲスト招聘イベント など

青文字：上記実施により達成できるJYYF活動

ヨーヨーの競技会を開催します

ヨーヨーのトリック(技)の検定をします

ヨーヨーの審査員・ジャッジの育成をします

海外のヨーヨー組織や世界大会と連携をとり国際交流を促します

ヨーヨーの普及のための印刷物を作成します

安全なヨーヨーとプレイを推進します

ヨーヨーの競技ルールの制定をします

ヨーヨーのレベル(段位)認定をします

ヨーヨーの練習会・教室を運営・サポートします

ヨーヨー普及のための教本・ビデオを企画・製作します

STEP3：規模の拡大、国際大会の開催など

業界外企業とのイベントの実施や、現在行っている競技会の規模拡大、国際大会の開催などを積極的に進めていき、「競技会」としても「イベント」としても、より高度な運営ができるよう、各所連携を行います。

また、競技会以外の面においても積極的にイベント開催や外部への営業活動を進め、競技選手たちがより輝ける業界を実現していきます。

青文字：上記実施により達成できるJYYF活動

ヨーヨーの競技会を開催します

ヨーヨーのトリック(技)の検定をします

ヨーヨーの審査員・ジャッジの育成をします

海外のヨーヨー組織や世界大会と連携をとり国際交流を促します

ヨーヨーの普及のための印刷物を作成します

安全なヨーヨーとプレイを推進します

ヨーヨーの競技ルールの制定をします

ヨーヨーのレベル(段位)認定をします

ヨーヨーの練習会・教室を運営・サポートします

ヨーヨー普及のための教本・ビデオを企画・製作します

STEP1 :
JYYF会員促進～
インフラの整備

STEP2 :
普及活動の実施
会員満足度の向上

STEP3 :
規模の拡大、
国際大会の開催など

以上のSTEP1～3を直近の課題とし、まずはSTEP1より随時活動を進めてまいります。

JYYFの近況として、世界大会以降多くの企業様とお話をする機会ができ、今まで以上に活動のチャンスは増えてまいりました。そのため、各STEPの順序は状況により動的に変化する可能性はありつつも、この3つのSTEPを活動の柱とし、さらなる業界の発展を目指し、スタッフ一同活動してまいります。

また、これまでJYYFとして方針や今後の活動について発言・発表の機会が少なかった事が、皆様にご不安を与えた原因となっていると、世界大会を終えて改めて認識し、改善の必要があると考えております。

これまでと同様のご不安を、今後皆様を感じさせてしまうことの無いよう、今後は積極的に情報発信を行っていきたいと考えております。

以上が、今回皆様へ特にご理解を頂きたいと考えている

- ・体制の変更
- ・JYYFの今後の活動概要

についてのご説明となります。

人事情報や、2017年度以降の競技会におけるJYYF会員入会必須化などにつきましては、今後各地区大会の場なども含めて、引き続き情報を発信してまいります。

選手の皆様、またJYYFにご協力・ご協賛頂く皆様には一部ご負担をかける点もあるかと思いますが、皆様のご期待に添えるよう、スタッフ一同今まで以上に活動して参ります。

「日本ヨーヨー連盟」の名に恥じぬよう、今後も「スポーツ・競技」としてのヨーヨーの普及・発展に努めてまいりますので、今後ともみなさまの変わらぬご愛顧のほど、何卒よろしくお願いいたします。

2015年12月吉日
一般社団法人 日本ヨーヨー連盟
理事一同